

令和 2年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 先端産業課
 担当名: 次世代担当、推進担当、企画担当
 内線: 3735 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業
B35	先端産業創造推進事業			一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	次世代産業支援費
事業期間	平成26年度～ 令和 3年度	根拠法令				宣言項目	08 稼ぐ力の向上	
						分野施策	040831 新たな産業の育成と企業誘致の推進	
1 事業の概要				5 事業説明				
<p>今後大きな成長が見込まれる先端産業を振興するため企業・大学・研究機関等の人材・技術・情報を本県に集結し、あわせて企業等の事業化を支援することにより、産業活性化、雇用創出及び税収増加に結びつける先端産業創造プロジェクトを実施する。</p> <p>また、分野横断的な技術であるロボット、AI・IoTの研究開発・実用化や導入、人材育成を行う。</p> <p>(1) 先端産業創造推進事業 △7,926千円 事務費の節減やHP管理委託費用が当初の見込みを下回ったことなどによる減額</p> <p>(2) 分野横断的技術推進事業 △23,054千円 補助金交付決定額が当初の見込みを下回ったことなどによる減額</p>				<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 先端産業創造推進事業 23,710千円</p> <p>(ア) 先端産業有識者会議運営事業</p> <p>(イ) 先端産業支援センター運営事業</p> <p>(ウ) 成果のPR、見える化事業</p> <p>イ 分野横断的技術推進事業 323,797千円</p> <p>(ア) 社会課題解決型オープンイノベーション支援事業 オープンイノベーションを通じた革新技術の社会実装により、社会課題の解決を図る。</p> <p>(イ) ロボット研究開発支援事業 産学官による情報共有や交流の場である交流会、県公社による研究会及びシーズマッチング会を開催する。</p> <p>(ウ) ロボット人材育成事業 ロボットの要素技術・ビジネス化についてを講義や実習を通して学び、開発や事業化のための人材を育成する。</p> <p>(エ) AI・IoT技術支援事業 SAITECにおいて、生産機械の劣化状況診断や製品の検査工程にAIを活用した生産性向上システムを構築し、県内中小企業におけるスマートものづくり基盤の構築を支援する。</p> <p>(オ) AI・IoT普及・活用支援事業 県公社内にコーディネータを設置するとともに、AIコンソーシアム・AIプラットフォームを運営し、県内中小企業のAI・IoT技術の活用支援、技術者育成、実装支援を行う。</p> <p>(カ) AI活用機器等開発事業 AI活用機器・システムの開発や実証を支援し、企業参入の促進を図る。</p> <p>(2) 事業計画 R2年度～ 有識者会議の運営、事業化支援、プロジェクトPR、分野横断的技術（ロボット・AI・IoT等）の推進</p> <p>(3) 事業効果 外部専門家の知見を取り込みながら、先端技術・製品の開発から事業化までの徹底した支援、分野横断技術であるロボット・AI・IoTの導入や人材育成支援により、県内中小企業の「稼ぐ力」の向上を図ることができる。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 大学・研究機関、埼玉県産業振興公社、シンクタンク、プログラム実施企業や民間企業等と連携して実施する。</p>				
2 事業主体及び負担区分								
<p>(県10/10) ア(ア)(ウ) イ(イ)(エ)(オ)</p> <p>(県10/10) 事業者(公社含む)0 ア(イ) イ</p> <p>(県2/3) 公社0・事業者1/3 イ(オ)</p> <p>(国1/2・県1/2) 公社0 イ(カ)地域再生計画関連</p>								
3 地方財政措置の状況								
<p>普通交付税（単位費用）</p> <p>(区分) 地域振興費（細目）地域振興費</p> <p>(細説) 地域振興共通経費</p>								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員								
9,500千円×8.5人=80,750千円								
				財 源 内 訳				
予算額		国庫支出金	繰入金				一般財源	補正後の 予算額
決定額	△30,980	△484	△30,496				0	316,527
現計額	347,507	18,830	328,677				0	